

## ①益田市美都町三谷・小原地域において、イノシシ対策研修会を開催しました！

令和3年6月12日(土)に、東仙道公民館において「イノシシから集落を守ろう！イノシシ対策研修会」が開催され、西部農林水産振興センター益田事務所の鳥獣担当が講師を務めました。当日は、12名の地域住民の方々に参加頂きました。研修会では、本地域で被害が目立つイノシシに焦点を絞り、基本的な生態や行動特性、対策技術について紹介しました。また、人里へのイノシシの侵入経路や柵の設置状況、イノシシを誘引してしまう果樹の位置などを地図に書き込むことで、現在の地域の状況を共有しました。研修の最後には、質疑応答や意見交換が活発に行われました。

現在当事務所では、「鳥獣被害ゼロ」を目指して鳥獣被害に強い集落をつくることに意欲のある集落・組織を、林業部と農業部が連携して直接支援しています。今回の研修会を契機とし、被害対策マップを作成して地域にフィードバックを行ったり、防護柵の効果的な設置等を推進することによって、地域住民が協力して農作物被害を軽減していけるよう支援を実施していきます。



研修会の様子



イノシシの情報を地図に書き込む様子

## ②益田高校の3年生が県産材を使用した木の椅子を製作しました！

益田高校の3年生3名の生徒が、林業教育事業の一環で地域の木工会社の協力を得て製作していた木製椅子12脚がこのほど完成しました。椅子には全て県産材が使われており、座面はスギ、脚部分はマツでできています。

生徒自身が木工会社の方から指導を受け、設計から製材、組み立て、塗装まで一連の作業を行いました。完成した椅子は、高さが20cmほどで重ね合わせることで自由に高さを調整することができます。椅子は学校の渡り廊下に設置され、生徒が座って休憩したり談笑をするために利用されます。

椅子は最終的に30脚程度製作する予定で、8月の完了を目指して残りの椅子を製作する予定です。実際に椅子の製作に携わった生徒はもちろん、他の生徒の方々にも県産材に親しんでもらい、循環型林業の「木を使う」を体験していただければと思います。



パネルソーを使用したスギ板の切断作業



組み立て作業



完成した椅子